

市民からのお便り

(親子クイズ) クイズ、難しかったです！トランプを並べて考えたら分かりました。

将来は、経験を積んで周りを指導できるようにになりたいと、笑顔で夢を語っていただきました。応援しています！

指導者を目指します



鎌倉 聖人さん (前浜)

夢に向かって！



濱田 真有さん (大埴甲)

に
こ
ら
い
ふ
187

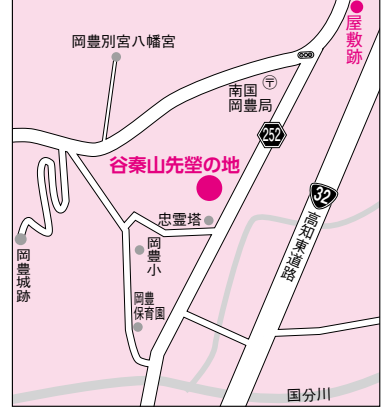


谷家は、大和の国から移り住んだ家系で、故郷の三輪山の谷にちなんで姓を谷としたと言われています。いつ頃土佐に来たのかは不明ですが、岡豊八幡宮の宮司を代々受け継いできました。特に谷左近は長宗我部元親に仕え、長宗我部軍を戦勝へと導いた逸話がいくつも残されています。



谷家先塋の地

谷秦山先塋の地



問い合わせ
生涯学習課文化財係
880・6569

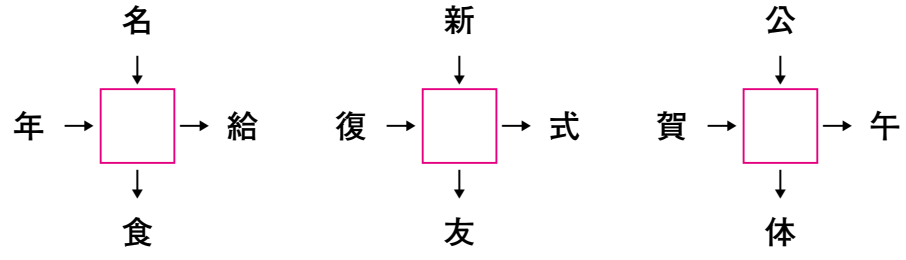
岡豊保育園からしばらく北へ歩くと、忠霊塔の北側に小さな丘があります。雑草の茂る小道を少し登ると、笹草の中に墓石の点在するところに出ます。ここが岡豊別宮八幡宮の宮司であつた谷家先塋の地です。墓石は、川石などの自然石を用いたごく質素なものです。これは「墓を大きく立派にすると、子孫滅びる」という谷家の家訓によるものと言われています。

なんこく歴史散歩 第38回

その後、6代目の谷秦山は岡豊で生まれ、その屋敷跡は現在祠が残るのみです。父に従って高知城下へ移り住み、儒学や天文学を学びます。伊能忠敬が土佐を北緯33度34分と観測する百年も前に、秦山は高知城の北を北緯33度半強であることを記しています。56歳で病死するまで学問への情熱を絶やすことなく研究を続け、「南学の精神は、学ぶものが自ら取り組み実践的なものでなくてはならない」と説いています。

親子クイズ 525

Q 矢印の方向に二字熟語ができるように、□に漢字を入れてください。その□の3つの漢字を使ってできる言葉は？



【第524回解答】

A : 1 B : 6 C : 3
D : 5 E : 4 F : 2

【第524回当選者】

久保田 奏子 (福 船)
佐竹 八重子 (大埴甲)
下村 真白 (緑ヶ丘)
中田 朋子 (浜改田)
中山 恵津子 (久 枝)

■応募締切／2月12日(金)必着
■あて先／〒783-8501
南国市大埴甲2301
南国市企画課「親子クイズ」係
*はがきで応募
■賞品／正解者の中から抽選で、5名に図書カード(1,000円)を贈呈

★応募総数／101通 ★正解率／85%

親子クイズは、広報委員が毎月順番に考えています。

59 人権学習シリーズ

「子どもが作る弁当の日」という取り組みが全国の小中学校に広がっています。年に数回あるその日の昼食時の教室は、自分で作った弁当を友だちと見せ合いながら、得意げな顔をして食べる子どもの姿であふれるそうです。

買い物から片付けまで苦労しながら自分の力だけで弁当を作ることで、自立心が育つことや家族への感謝の気持ちが生まれるなど、さまざまな効果があるようです。

その話を、普段は料理の手伝いなどほとんどしない我が家の小学生の娘に紹介すると、思いがけず自分も弁当を作りたいと言いました。そこで、ある休日を我が家の「子どもが作る弁当の日」に設定して、娘に家族みんなの弁当を作ってもらいました。

「大人は手伝わない」というのが弁当の日のルールなのですが、これがなかなか難しいものです。包丁を持つ手つきやフライパンの使い方がぎこちなくて怪我をしないか心配になり、ついつい手伝いそうになってしまいました。それでも心配性の親を横目に、娘は自分でできる言いなり、時間はかかりましたが見事に弁当を作り上げました。

「自信をつけること」

子どもの可能性を信じて大人があたたかく見守ることで、子どもが大きな自信をつけることができるようです。子どもが主人公になるこのような機会がどんどん増えて、子ども達の笑顔がもっと広がってほしいなと感じました。

子どもの可能性を信じて大人があたたかく見守ることで、子どもが大きな自信をつけることができるようです。子どもが主人公になるこのような機会がどんどん増えて、子ども達の笑顔がもっと広がってほしいなと感じました。

問い合わせ
人権啓発広報委員会
880・6569